



平成26年 5月29日

資料提供先：鳥取県政記者会、倉吉記者クラブ、米子市政記者クラブ

出水期を前に【天神川水防訓練】実施

～小学生も災害対策車両の搭乗体験をしてもらいます～

天神川では、6月10日～10月20日が出水期となっています。

出水期を前に、倉吉市職員、市消防団（水防団）及び水防協力団体等の水防訓練を実施します。

また、天神川河川防災ステーション内で運用している「災害対策車両庫」や平成26年4月から供用した「倉吉市防災センター」の施設紹介や、一般参加者や小学生を対象に、水防関連パネル展示や災害対策車両の展示・乗車体験も併せて行います。

■日 時

➤平成26年6月5日（木）

10:00～12:00

■場 所

➤天神川河川防災ステーション

国府川右岸1k300付近（国府橋下流）・・・位置図参照

■内 容

➤土のうづくり、積土のう工などの土のうを使った水防工法訓練

➤国・県・市所有の水防資機材、防災資機材の確認作業

➤市所有の水防資機材（災害用排水ポンプ等）の取扱い説明

➤国所有の排水ポンプ車運転（国府川福守釜場）

➤災害対策車両展示・乗車体験（屋外） ほか・・・別紙参照

■その他 当日、注意報が発令される等悪天候の場合は中止いたします。

【問い合わせ先】

国土交通省中国地方整備局

TEL (0858) 26-6221 (代表)

副所長（河川） 川上 暁洋（かわかみ あきひろ）

【担当】 工務第一課長 山本 康夫（やまもと やすお）

倉吉市 防災安全課

TEL (0858) 22-8162

課 長 徳丸 宏則（とくまる ひろのり）

課長補佐 吉川 仁彦（きっかわ ひとひこ）

「出水期前の水防団、消防機関及び水防協力団体の水防訓練」 実施要領

1 趣 旨

出水期前に、倉吉市職員、市消防団（水防団）及び水防協力団体等の水防訓練を実施し、水防技術の向上を図る。

また、天神川河川防災ステーション内で運用している「災害対策車両庫」や平成26年4月から供用した「倉吉市防災センター」の施設紹介や、一般参加者や小学生を対象に、水防関連パネル展示や災害対策車両の展示・乗車体験も併せて行う。

2 日 時 平成26年6月5日（木）10:00～12:00

3 主 催

4 場 所 天神川河川防災ステーション（倉吉市防災センター、災害対策車両庫ほか）

5 水防技術指導 国交省中国地方整備局倉吉河川国道事務所
中部総合事務所県土整備局

6 訓練参加予定者 倉吉市（防災安全課、建設課、下水道課、農林課 各2名程度）
倉吉市消防団（各分団から2名参加）
自治会・自主防災組織（水防協力団体）
※見学：社小学校5年生（60人）※11:00～12:00

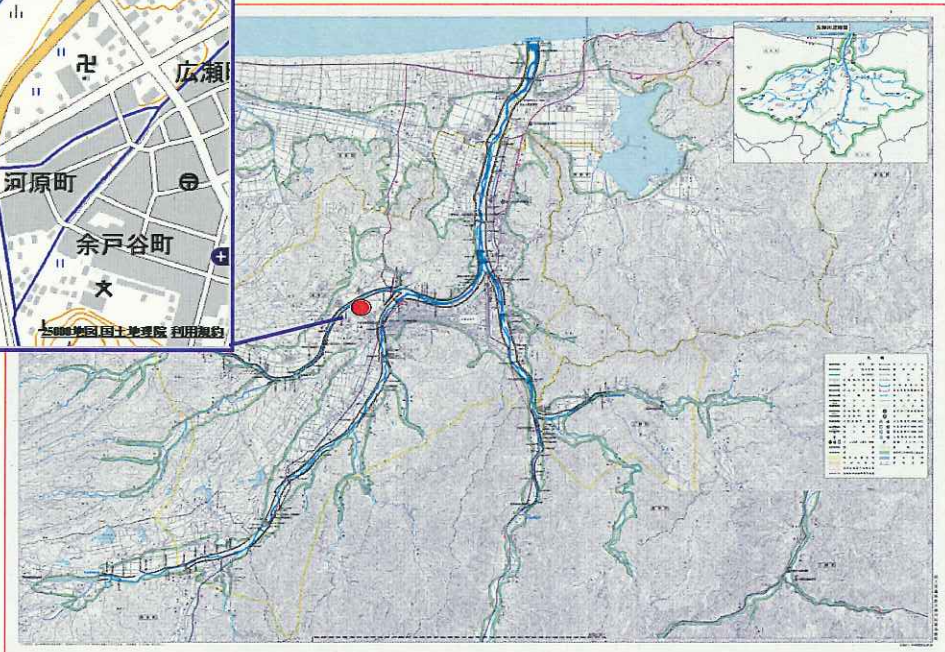
7 訓練内容等 土のうづくり、積土のう工などの土のうを使った水防工法訓練
国・県・市所有の水防資機材、防災資機材の確認作業
市所有の水防資機材（災害用排水ポンプ等）の取扱い説明
排水ポンプ車運転（国府川福守釜場）
災害対策車両展示・乗車体験（屋外）
【災害対策本部車、待機支援車、照明車、衛星通信車】
災害パネル等展示（市防災センター及び災害対策車両庫）

「出水期前の水防団、消防機関及び水防協力団体の水防訓練」

訓練日程

時間	訓練内容	場所	備考
10:00~10:20	訓練説明 国、県、市保有水防資機材の確認、情報共有 情報伝達確認、河川状況等確認手段等	市防災センター 大会議室	
10:20~12:00	車輛展示 (展示車輛に試乗・・・一般、小学生) ※社小学校 11:00~12:00	天神川河川防災ステーション ・災害対策車両庫ほか	
10:20~11:00	水防訓練(土のう作成) 市消防団、一般参加者等	天神川河川防災ステーション 備蓄資材(土砂)仮置き場	
11:00~11:10	休憩		
11:10~11:40	水防訓練(積土のう工ほか)	天神川河川防災ステーション 備蓄資材(土砂)仮置き場	
11:40~12:00	防災資機材取扱い説明 救命ボート、投光器(バルーン型)、災害用排水ポンプ等	市防災センター・水防倉庫	
10:40~12:00	排水ポンプ車運転実演(国土交通省保有分) (10分程度@3~4回)	天神川河川防災ステーション 上流 国府川福守釜場	
10:20~12:00	防災資機材、パネル展示等	市防災センター・展示室等 ※市防災普及指導員説明	

河川防災ステーション位置図



天神川河川防災ステーション

【事業概要】

天神川水系は急流河川でもあり、一度氾濫すると県・市・町の行政庁舎等水防拠点が浸水する恐れがあり、水防資材も各地に点在しているなど、洪水時の迅速な対応に課題を持っていたことから、平成22年度より、洪水時の水防拠点となる河川防災ステーションの整備を実施し、平成24年度には、災害対策車両庫の建築及び場内舗装等を実施し、国土交通省が整備する部分を終了させ、事業が概成しました。

平成25年度には、倉吉市が「防災センター」を建築し平成26年度から開所しています。

防災センターの整備(倉吉市 平成25年度完成)

防災ステーション内に、水防活動を円滑に実施する拠点として防災センターを倉吉市が、平成25年度に建築をしました。

防災センターには、鳥取県中部の水防活動を担う「鳥取中部ふるさと広域連合」が常駐(H27年度以降)し、広域防災の拠点として迅速な災害対応を可能にするとともに、常時より防災教育の場として、水防団等の指導・訓練、自主防災組織の指導・研修、救急救命講習など、より厚い防災教育に努める場となります。



建物規模
鉄筋コンクリート3F建
延面積 約1370m²



備蓄資材

名称	数量	単位
根固ブロック2t型	356	個
大型連節ブロック	1,120	m ²
砕石	285	m ³
土砂	2,100	m ³

災害対策車両

車両	台数
衛星通信車	1
対策本部車	1
待機支援車	1
照明車	3
排水ポンプ車	3

局付け車両含む

災害対策用機械の紹介

国土交通省倉吉河川国道事務所(天神川河川防災ステーション)



天神川河川防災ステーション(車両庫)

●天神川河川防災ステーション

国土交通省倉吉河川国道事務所では風水害や地震など様々な災害に対応するための災害対策用機械を保有しています。

倉吉河川国道事務所は山陰の防災基地であるため、災害発生時には倉吉市内だけでなく日本全国に出動し対応します。

平常時には有事に備え機械の操作訓練も実施しています。

●災害対策用機械

対策本部車：大規模災害現場で復旧・対応の指揮をとるための会議スペース、簡易なキッチン等を装備した車両です

待機支援車：災害現場で復旧・対応する派遣職員等の仮眠スペース(簡易ベッド8床)を装備した車両です

排水ポンプ車：大雨による浸水被害が発生した際に水を排出するための車両です

照明車：夜間作業を行う際の照明を搭載した車両です

衛星通信車：災害現場の映像・画像、音声を対策本部等に衛星通信でリアルタイムに送信するための車両です

遠隔操縦装置：崖崩れ現場の土砂を安全に撤去するためにバックホウを遠隔地から操縦するための装置です



平成23年度 倉吉市福守町 排水ポンプ車による排水作業状況

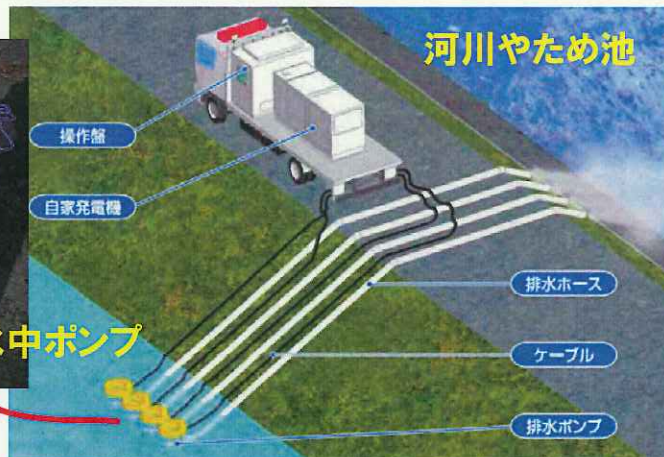


平成23年度 東日本大震災 排水ポンプ車による排水作業、対策本部設置状況



平常時における災害対策用機械操作訓練状況





排水ポンプ車(30m³/min) 2台 排水ポンプ車(150m³/min) 1台



待機支援車(8床式) 1台

衛星通信車 1台

照明車(2kW×6灯) 2台
照明車(1kW×8灯) 1台



対策本部車(拡幅型) 1台

カプセル内

遠隔操縦装置(バックホウ用) 1台

バックホウ操縦ロボ